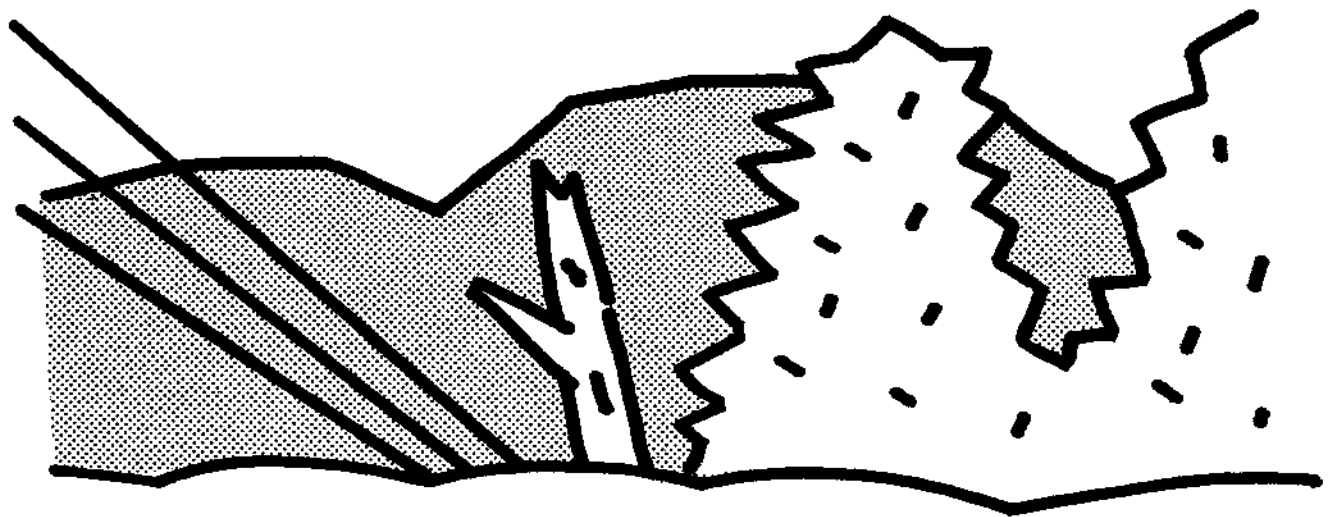


# 日本電装電友会山岳部

91年度

## 冬山合宿記録



合戦小屋からみる有明山

CL. 神谷 SL. 手嶋

亀山 藤田 大矢 板倉 斉藤 宮内 井上 中山(喜) 高橋

## 冬山合宿を振り返って

神谷

今回の合宿は2パーティー計画され、Aパーティーは中堅以上のレベルアップ、Bパーティーは初心者のレベルアップを目的としていました。しかし出発直前にAパーティーはメンバーの体調不良により無くなった為、急遽Bパーティーにメンバーを吸収して、1パーティーのみで合宿をおこなうことになりました。

部としては中堅以上のレベルアップという目標は果たせませんでした。結果的にBパーティーは指導者クラスのメンバー補強出来たため、雪上訓練・アタック等が安全にかつスムーズにおこなう事が出来ました。私がBパーティーのリーダーであるからかもしれませんが、今回の合宿の目的は、今回は新人が多いこともあり、『初心者のレベルアップ』『(例会等をおこなう)リーダークラスの養成』であり、部としても重要な課題だと考えていました。そのため、出来るだけBパーティーのペースのまま行動し、旧Aパーティーの人には雪上訓練のときに活躍してもらおうと考えていましたが、リーダーの想像以上に天候が悪く、旧Aパーティーの方々の力を借りる場面も多かったと思います。リーダーの考えていた行動とは多少異なりましたがメンバーが自覚を持って行動してもらえたおかげで目標にむかってパーティーが動けたと思います。

雪上訓練の内容は締まった雪面がないためアイゼンワークなどが出来ませんでした。新人の方々には、雪上での生活、わかんを使っての歩き等、実際に山でしか判らないことをたくさん体験出来たのではないかと思います。リーダーとしても『雪の上を歩くこと』『雪の上で生活すること』の2点を重視していたので、満足のいく内容でした。今回ではアイゼンワーク等に時間が取れませんでした。直前に3回の訓練山行をおこなっているため全員が体で覚えているとは思いますが、理屈は判ってもらえていると思います。

Aパーティーの目標としていたレベルも新人の人にとって『雲のうえ』というレベルでなく、頑張れば2~3年で付いていくことが出来ると思います。今回の合宿のあとも場数を踏んでクラブのレベルアップを図ってもらえると今回の合宿の意味があると思います。

最後に、今回の合宿の留守本部・留守部員を引き受けて頂いた方々、差し入れを下さった方々に、この場を借りてお礼を申し上げます。

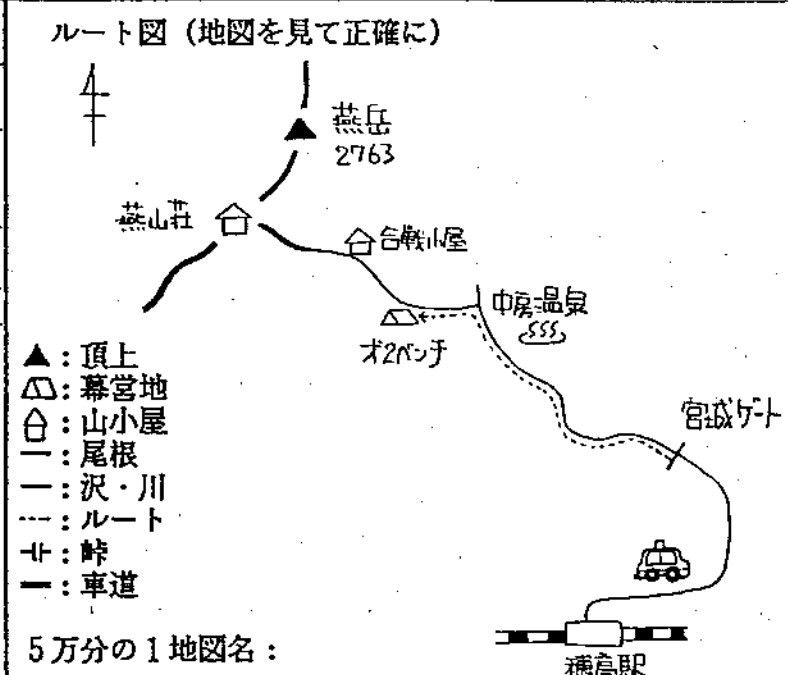
以上

冬山合宿

月度例会 大 山行 集会報告書		報告者 高橋 1/5	参加 CL: 神谷 SL: 手嶋 板倉 大矢 藤田 倉山 斎藤 中山 村上 宮内 高橋 計11名
山 域 名 北ア 燕岳	山行日 91年12月27日(金)~ 91年12月31日(火)	メンバー	

山行目的 冬山合宿	コースタイム (天候: 天気図記号)
--------------	--------------------

配布先  
 集会: 8  
 山行: 1  
 リーダー  
 原紙: 集会担当者



5:03 穂高駅着 5:30 " 発 ↓ 5:50 宮城ゲート着 6:10 " 発 ↓ 6:40 1回自休憩 ↓ 7:40 2 " " ↓ 8:30 3 " " ↓ 9:35 4 " " ↓ 10:35 5 " " ↓ 11:20 中房温泉着 11:40 " 発 ↓ 12:25 オ1パンチ ↓	13:25 オ2パンチ ↓ テント設営 14:45 ワカン歩行練習 ↓ 15:30 食車準備 ↓ 17:10 夕食 ↓ 21:00 三尚灯
---	---

<報告者所見> 名古屋発0:56。急行くろは号で(1)が出發。乗車早々各自寝所を確保、睡眠。車掌さんが検札時に「風邪ひかないようにね」と声をかけられる。穂高駅で30分時間をとって朝食。雨がぱらぱら降っている。宮城ゲートまで、ズパツツ、ムツランフ(ズキ=用いなく、不用。)を装着歩き出る。そこから中房温泉まで、林道が延々と13kmも続く。単調で長く感じたけれど、早目の休憩をとったり、写真を撮ったり、とゆたゆたペースで進む。ようやく中房温泉まであと1kmという所までくるとなぜか隊列が2列になって会話がはじまる。なんだか楽しい気分... 中房温泉でアイゼンの準備をみるが結局装着の必要がなく、そのままオ2パンチに到着! 雪積は30cmくらい。先着P-テ-が1組。すぐにテントを設営してその後少し先の斜面でワカン歩行の練習。(45分) ワカン

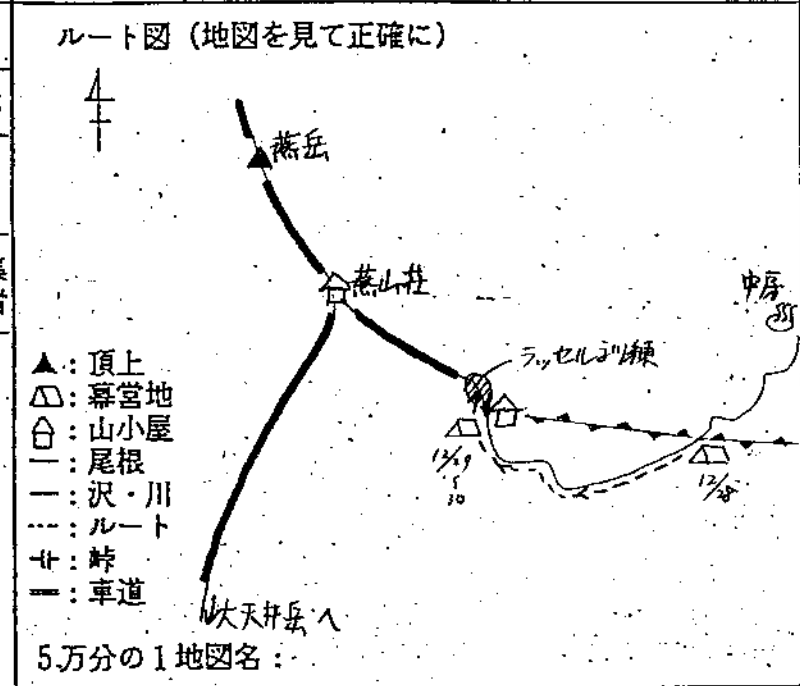
<リーダー所見> 歩行は初め22.23まで歩きづらかった。一歩登るとはびるはびると落ちの繰り返しだった。練習後はテントに戻って夕食。18:30には食バ終わった。あとはわいわいやっていたけど、皆睡眠不足のためズキズキ眠そう。21:00 三尚灯。明日は天気が悪そうである。熟睡!!

フリースペース  
 山の紹介・スケッチ・エピソード・その他自由に

月例会 個人	山行	集会報告書		報告者 報告日	中山 1/15	参加 メンバー	CL:神谷, SL:手嶋 中山, 宮内, 高橋, 青藤, 亀山, 井上, 板名, 藤田, 大矢
山域 山名	中房温泉~ 燕岳	山行日	91年12月27日(金)~ 91年12月31日(火)				

山行目的	冬山合宿	コースタイム (天候: 天気図記号)
------	------	--------------------

配布先	ルート図 (地図を見て正確に)
集会: 8	
山行: 1 リナー	
原紙: 集 会担当者	



5:00 起床	18:00 夕食
8:05 出発	19:00 ミニ7
8:35	21:00 就寝
9:35~9:40 2200m 手前	
10:55 合戦小屋 設営	
12:20~15:00 稜線手前 ラッセル訓練	

<報告者所見>

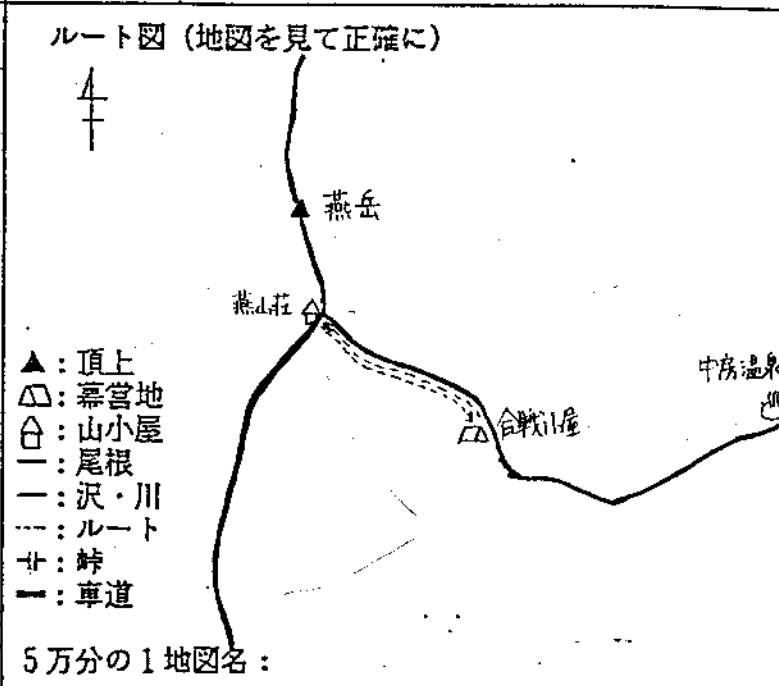
29日は朝5時に起床, 十分眠れながら起きて寝たりない気分である。  
 テントは完全に凍りつき, 撤収が大変そうだなと思った。朝食を済ませ, 装備を  
 ザックに詰め込み, テントを撤収したのは8時と, 思った以上に手間取ってしまった。  
 外は, 雪がちらちらとしていて, 風は無くあまり冷え込んでいる様でわか  
 かったが, 昨日から降り積もった雪で新雪の上を歩くとひざ以上まで  
 埋まる状態であった。テント場を出発したが, 既に先に出たパーティーのラッセル  
 の跡がはっきりついていて, 新雪のラッセルが出来たのは, ほんの100m程度  
 であった。雪の上を歩いて思ったが, 前の人の踏み跡からちよとすれて, 新雪に  
 はまったりすると, 抜け出すのに相当体力を消耗し, 結構しんどいなと感じた。

<サングラス所見> 11時位には合戦小屋に着き設営, その  
 時, スコップで雪かきしている時000をスライスしたのは  
 ショックだった。その後稜線手前の斜面まで行き, わか  
 るだけラッセル訓練したが, 腰以上まで潜ると思う様に  
 進まず, もう少し雪に慣れる必要があるなと思った。  
 夕食後, 個々の冬山合宿の感想と, 来年の抱負を語り  
 その日は就寝

フリースペース  
山の紹介・スケッチ・エビ  
ソード・その他自由に

月度例会 個人山行		<b>集会報告書</b>		報告者 報告日	井上 1/15	参加 メンバー	CL: 神谷, 手嶋, 亀山 斎藤, 中山, 宮内, 高橋 板倉, 大矢, 藤田, 井上
山域 山名	北アルプス 燕岳	山行日	91年12月30日(月)~ 91年12月30日(月)				
山行目的	冬山合宿 (3日目)		コースタイム (天候: 天気図記号) ☉				

配布先  
集会: 8  
山行: 1  
リーダー  
原紙: 集会担当者



5:30 起床  
朝食  
7:45 合戦小屋出発  
↓  
8:50 合戦の頭上  
9:00 上  
↓  
10:30 燕山荘  
13:00  
↓  
14:00 合戦小屋着  
ガイドワーク  
訓練  
15:30 終了

<報告者所見> 朝、目覚めて、風がさほど強くなかったので、ちよと安心した。雪も降っていないようなので、頂上をめざすことができそうだった。7:45 合戦小屋を出発。途中、昨日ラセルの練習をした場所を通ったが、雪で埋まっていて、かまかに跡が残るだけとなっていた。合戦の頭を通り、稜線沿いに歩く。風はさほど強くないが、時々突風が吹いたため、注意して歩いた。視界はあまりよくない。途中1回休憩をとり、さらに燕山荘をめざす。偵察の時とは違って、燕山荘におかて、ますぐ雪の上を歩いていく。10:30 最後の急登を終え、燕山荘に着いた。西から谷を越えて、<sup>20m/sくらい</sup>すこし風が吹いてくるのに おどろいた。小屋の影で休憩をとり、頂上をめざすことにしたが、あまりにも風が強くてうまく歩けなかった。藤田さんが、ガイドで結んでくれることになった。ガイドをとりあえず置いて行くことにした。それでも

~~ガイド~~ 手ぶらぶらした。おんた合流したあと  
とあえが小屋のところに戻り、これからのことを検討した  
結果、今日は頂上へ行くのをあきらめることになった。  
11:30. さあこれから降りるぞという時に、私は急に  
息が苦しくなってきた。今までの緊張がゆるんでしまった  
せいかもしれない。小屋の中に入り、体をあたためてもらった。  
"寒い"と特別感じていたわけではなかったが、体ががたがた

フリースペース  
山の紹介・スケッチ・エピソード・その他自由に

ぶるえた。1時間くらいゆっくりと休ませてもらって、ちと落ち着いてきた。(その間、他の人は何をしていたのか、詳しく知りませんが、寒さの中長い間待っていたのだと思います。どうもお疲れでした。) 13:00 下山を開始。外は、うっすらと日が射し、風も弱まり、視界も少しよくなっていた。下りも藤田さんにガイドで結んでおいて、バックもみなに持ってもらいました。天気が快方に向かっているせいか下から上の人々が登ってくるのに会いました。14:00 合戦小屋に到着しました。伊藤さんとアジのさし入れのおすきを食べ、体を暖めました。その後、みなは、7日間の訓練をおこないましたが、私はテントの中で休みました。15:30 その日の行動を終りました。夜は星が大変きれいで、また遠くの街のあたりが見え、夜景も大変美しかったです。明日はきっとよい天気になるだろうなと思いました。

### <冬山合宿全体の感想>

今回、冬山合宿に参加するにあたって、準備の段階から本番まで、大変多くの人々に助けをいただきました。本当にどうもありがとうございました。体力的にも、技術的にも、大変未熟で、周りの人に心配や迷惑をかけたことと思います。

行く前は、大変不安で、途中で帰りたいくらい、どうしようかと思っていました。初めてのことで驚きが多く、緊張していたせいか、4日間は、あっという間に過ぎてしまいました。

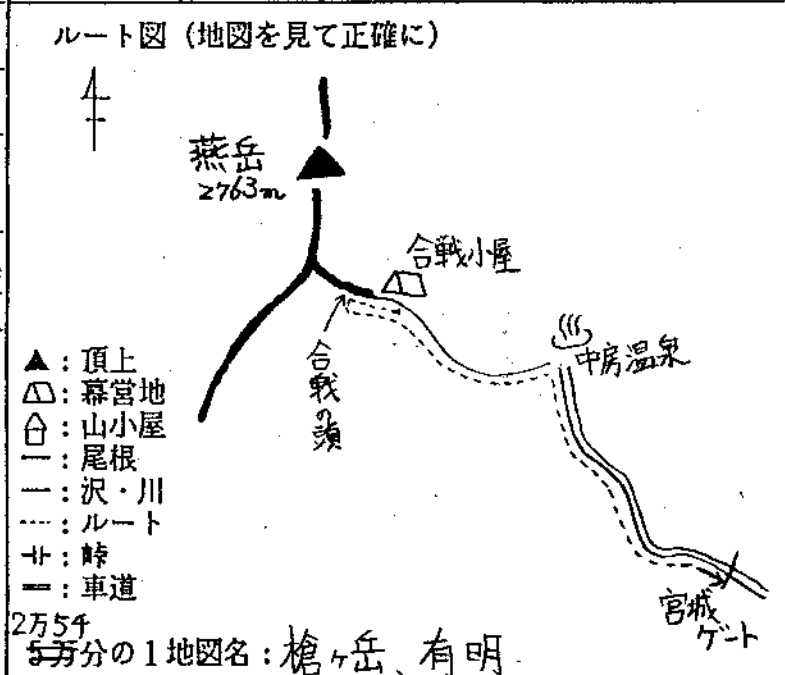
例年より寒さが厳しかったようですが、初めてだったので、冬山とは、こういうものなんだと思います。寒さに対しては、それほど抵抗を感じませんでした。一番印象に残ったのは、一歩稜線に出たときに、風がすこ強くなったことでした。行く前は、冬山では、どこでも、あの様に強い風が吹いているものだと思っていましたが、地形とか環境によって、みんな違うのに驚きました。もと山に対する正しい知識を身につける必要があると思います。

最後の日は、すばらしくよい天気です。これまでの苦労がすべて報われたような気がしました。今回の合宿では、冬山の厳しさやすばらしさを経験できて、本当によかったです。また来年も参加したいと思います。みなさん、どうぞよろしくお願いします。

月度例会 個人山行	<b>集会報告書</b>		報告者 手嶋 1/15	参加 CL: 神谷 手嶋, 中山, 宮内, 高橋, 井上, 斎藤, 龜山, 板倉, 大矢, 藤田
山域名 北アルプス 山名 燕岳	山行日 91年12月31日(火)~ 年 月 日( )	メンバー		

山行目的 冬山合宿	コースタイム (天候: 天気図記号)
--------------	--------------------

配布先  
 集会: 8  
 山行: 1  
 リーダー  
 原紙: 集会担当者



5:00 起床(○)	12:55)
8:00 合戦小屋 着	13:05)
20) 合戦の頭	14:20 宮城ゲート
40) 合戦小屋 着	
50) 合戦小屋 着	
9:20) 合戦小屋 着	
45 富士見ベンチ	
10:15) オ3ベンチ	
25) オ3ベンチ	
50) オ2ベンチ	
11:15) オ1ベンチ	
40) 中房温泉	
12:05) 中房温泉	

<報告者所見> 本日は合宿最終日を飾るにふさわしい素晴らしい快晴となった。空は澄みわたり、山は光っている。テントを撤収し、空身で合戦の頭へ向った。20分ほどで着く。ここからの景観は抜群で、燕、大天井、常念へと続く稜線の美しさ、その後方に頭を出している槍の穂先に感激した。昨日までの悪天候を忘れさせてくれるほどの綺麗さだった。景色をじゅうぶん堪能したあとは下山にとりかかった。下りはとても気持ちの良いものであった。足は自然に前へ出てリズムカルに雪の斜面を下っていく。富士見ベンチのあたりからは、トレースの無い所を雪まみれになりながら、滑り下りながら楽しんだ。11:40 中房温泉に着く。ここから宮城ゲートまで、ND山岳部伝統の林道スピード競走である。10Km以上の道のりをゲートめざしての猛ダッシュとなった。

~~サダ~~ 所見 みんな最後までよく頑張った。  
 今回の合宿は冬山の厳しさ(寒さ)と優しさの2面を体験できてとてもラッキーだったと思う。悪天のため、山頂には行けなかったが、終り良ければ全てよし、ということに次回に賭けたい。

フリースペース  
 山の紹介・スケッチ・エピソード・その他自由に

# 「気象」 12/27 ~ 31

